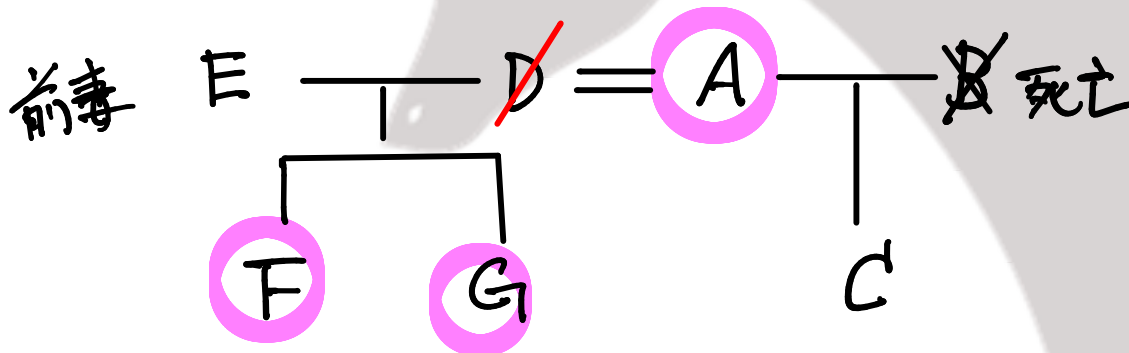


相続 宅建 R03(10)-09-3 <<#979>>

【問】 正誤をつけよ。

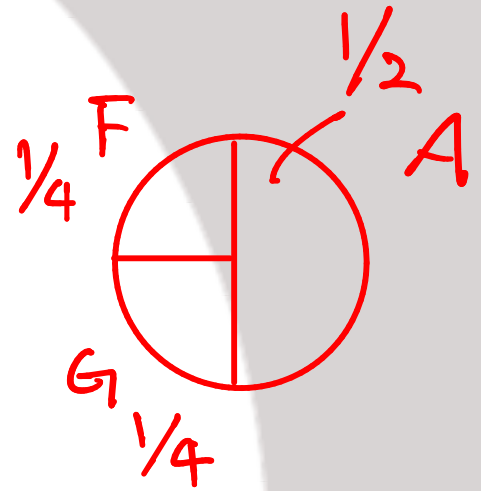
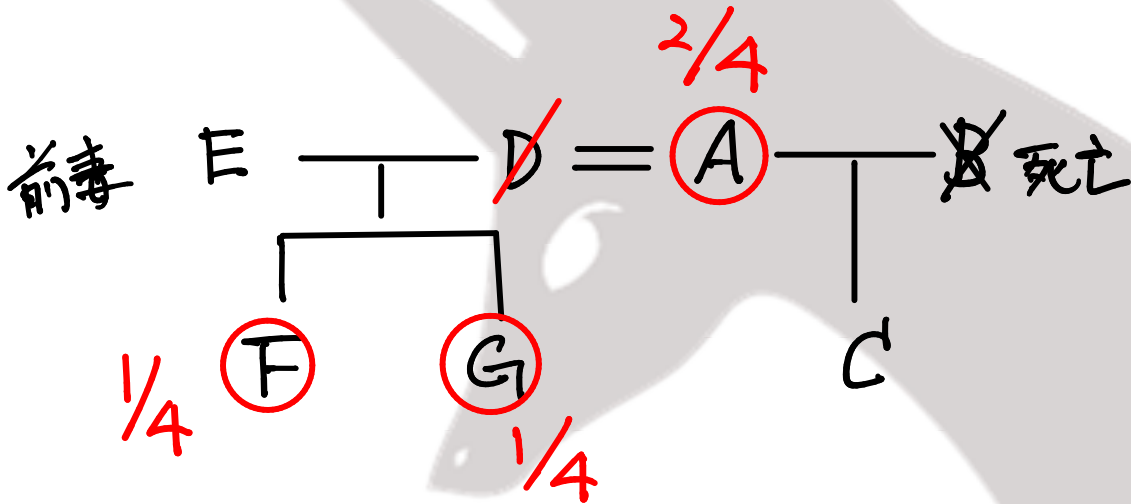
Aには死亡した夫Bとの間に子Cがあり、Dには離婚した前妻Eとの間に子F及び子Gがいる。Fの親権はEが有し、Gの親権はDが有している。AとDが婚姻した後にDが死亡した場合における法定相続分は、Aが2分の1、Gが2分の1である。 ✖



【答え】 誤り

《ポイント》 法定相続人

	配偶者	常に相続人となる
1/2	第1順位 子 (胎児を含む)	実子と養子、嫡出子と非嫡出子の間に順位の違いはない(代襲相続が認められる)
1/3	第2順位 直系尊属	親等の異なる者の中では、親等の近い者が優先する
1/4	第3順位 兄弟姉妹	代襲相続が認められる



★ 法院相続令

0. 下準備

1. 配偶者 $\frac{1}{2}$, $\frac{2}{3}$, $\frac{3}{4}$

2. ①子 → ②直系尊 → ③兄弟
 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{3}$ $\frac{1}{4}$

3. 分配

【渋谷会】おすすめ講座

令和6年版『宅建これだけで合格セット』

宅建基幹講座(インプット) & 宅建過去問演習講座(アウトプット)のセット

宅建合格のための準備はこれだけで十分、あとは過去問演習で自習

<https://shibuyakai.com/>

解き方

+ 暗記